

授業科目 理学療法ゼミⅠ

【担当教員名】 古西 勇（他 17 名）		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	◎	○	
【概要・一般目標：G10】 4 年次の科目である卒業研究と臨床実習 III に向けての準備段階として、 および専門基礎分野の知識の確実な修得を促すため、各担当教員のアドバイスを受けながら主体的なゼミ活動を実施する。 ゼミは希望する研究テーマを考慮して 1 ゼミ 10 人以内程度で構成される。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 卒業研究の研究テーマの決定（理学療法の領域であること）、先行研究の文献や資料（英語の文献を含む）の検索・収集、文献抄読、研究計画の作成、予備実験などを行い、開講時期終盤の中間発表会に向けて計画を練り上げる。 2. 臨床実習 II（評価実習）で各人が学んだことをゼミ内で共有し合い、検査測定評価や動作分析、基本介入手段、各領域の治療についての幅広い「思考」と「技術」を身につけ、4 年次の臨床実習 III（総合実習）に臨めるように準備する。 3. 理学療法学生としての基礎知識の習得を確実とするため、グループ学習により自主学習の習慣を強化する。 4. 学生間で学びあいながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	卒業研究、臨床実習、基礎知識のグループ学習を主軸としたゼミ活動			1～4	グループ学習・ゼミ担当教員
2	(文献抄読、研究計画の討議、機器使用の練習、予備実験、臨床実習に向けての練習など)			1～4	〃
3	〃			1～4	〃
4	〃			1～4	〃
5	〃			1～4	〃
6	〃			1～4	〃
7	〃			1～4	〃
8	〃			1～4	〃
9	〃			1～4	〃
10	〃			1～4	〃
11	〃			1～4	〃
12	〃			1～4	〃
13	〃			1～4	〃
14	〃			3, 4	〃
15	卒業研究中間発表会			1, 4	発表・学科教員全員
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		新潟理学療法学（卒研論文集）第 1 巻（H16）～第 9 巻（H24）			最新の巻を配布（巻末に論文規程あり）
その他の資料					
【評価方法】 ゼミ活動への参加状況、卒業研究中間発表会に向けての取り組み		【履修上の留意点】 1. <ゼミ紹介>新 3 年生のオリエンテーションにおいて各ゼミ紹介を新 4 年生が行う。 2. <面談期間（約 2 週間）>理学療法ゼミⅠを履修する学生は、各ゼミ紹介の内容を参考に、興味・関心のあるゼミの教員のところへ伺い、自分で考えている研究テーマについて面談をする。 3. <登録期間（約 1 週間）>面談期間終了後、学生は希望するゼミ教員にエントリーシートを提出する。エントリーシートが教員に受理されれば、そのゼミに配属が決定する。教員の承認が得られなかった場合は、次に希望するゼミの教員のところへ随時エントリーシートを提出し、最終的に承認が得られた教員のゼミに配属が決定する。詳細は、オリエンテーションにて説明する。			